

第201回 上級 工業簿記①

問題 1

問 1

製造間接費の標準配賦率 [⑤ 4,200] 円/時間

問 2

当月完成品原価 [⑤ 43,120,000] 円

月末仕掛品原価 [⑤ 14,460,000] 円

問 3

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 掛 品	21,350,000	材 料	21,350,000

すべて正解で⑤

問 4

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 掛 品	6,144,000	賃 金	6,144,000

すべて正解で⑤

問 5

借方科目	金額	貸方科目	金額
材 料	68,000	材料消費価格差異	68,000

すべて正解で⑤

問 6

原価差異の総額 [⑤ Δ1,935,000] 円

材料数量差異

材料Xの材料数量差異 [③ Δ800,000] 円

材料Yの材料数量差異 [③ Δ150,000] 円

製造間接費差異

予算差異 [③ Δ187,000] 円

能率差異 [③ Δ264,000] 円

操業度差異 [③ Δ270,000] 円

問 7

購買活動の管理に役立つには、材料の価格差異をより早期に分離すればよい。具体的には、購入時に材料受入価格差異99,200円（貸方）を把握する。 ⑩

第201回 上級 工業簿記②

問題2

問1

①の方法

仕掛品					
前月繰越	[⑤	4,738,000]	製品	[⑤	32,300,800]
諸口	[30,853,975]	原価差異	[
原価差異	[190,225]	次月繰越	[3,481,400]

(注) 記入する必要のない空欄はそのままにしておくこと。

②の方法

仕掛品					
前月繰越	[4,600,000]	製品	[32,300,800]
諸口	[⑤	30,853,975]	原価差異	[
原価差異	[⑤	226,825]	次月繰越	[3,380,000]

(注) 記入する必要のない空欄はそのままにしておくこと。

問2

①の方法によると、本来、完成品のみが負担すべき正常仕損費を、月初、月末仕掛品も負担してしまうためである。 ⑩

問題3

名称	現実的標準原価 ②
意味	現実的標準原価は、良好な能率のもとにおいて、その達成が期待されうる標準原価をいう。 ③
名称	正常的標準原価(正常原価) ②
意味	正常的標準原価は、正常能率、正常操業度および正常価格に基づいて決定される原価をいう。 ③

○数字は予想配点

第201回 上級 原価計算①

問題 1

問 1

配賦率 [⑤ 320] 円/時

	製品 A	製品 B	製品 C
単位当たり配賦原価	② 1,600 円	② 2,560 円	② 2,240 円

問 2

	製品 A	製品 B	製品 C
単位当たり配賦原価	② 21,600 円	② 416 円	② 2,528 円

問 3

[⑤ 76,800] 分

問 4

[⑤ 50] 円/分

問 5

段 取	② 2,000 円/回
マテハン	② 750 円/回
検 査	② 3,000 円/回

問 6

	製品 A	製品 B	製品 C	計
段 取	360,000 円	20,000 円	② 100,000 円	480,000 円
マテハン	1,500,000 円	② 375,000 円	1,125,000 円	3,000,000 円
検 査	② 75,000 円	15,000 円	30,000 円	120,000 円
合計	1,935,000 円	410,000 円	1,255,000 円	3,600,000 円

第201回 上級 原価計算②

問7

	製品A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	② 19,350 円	② 410 円	② 2,510 円

問8

[⑤ 240,000] 円

問題2

問1

製品の組み合わせ

製品X	製品Y	製品Z
800 個	2,000 個	400 個

すべて正解で⑩

利益額 [⑤ 75,600] 円

問2

加重平均貢献利益率 [⑤ 21.6] %

損益分岐点売上高 [⑤ 2,150,000] 円

安全余裕率 [⑤ 14] %

問3

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが (800) 個、製品Yが (1,600) 個、製品Zが (1,500) 個であり、その時の全体の利益は (105,600) 円である。当初の利益より (30,000) 円利益が (増加) ・ (減少) *するので、この固定費の追加は (行うべきである) ・ (行うべきではない) *。

* は該当するものに○をすること。

すべて正解で⑩

問4

利益が最大となる製品組み合わせは、製品Xが (800) 個、製品Yが (2,000) 個、製品Zが (400) 個であり、その時の全体の利益は (55,600) 円である。当初の利益より (20,000) 円利益が (増加) ・ (減少) *するので、この固定費の追加は (行うべきである) ・ (行うべきではない) *。

* は該当するものに○をすること。

すべて正解で⑩

○数字は予想配点